

がん感染症疾病対策課感染症対策係
 担当 中山 長藤
 直通：092-643-3597
 内線：3066

福岡県感染症発生動向調査感染症週報

令和7年第1週（令和6年12月30日～令和7年1月5日）

福岡県感染症情報センター

■ コメント

- ・第1週は医療機関の年末年始の休業期間を含み、多くの定点把握疾患で報告数が減少しています。
- ・インフルエンザの警報レベルが続いています。急な発熱、頭痛、筋肉痛、全身倦怠感等の症状が現れた場合は、早めに医療機関を受診しましょう。インフルエンザにかかった場合、一般的に、症状が出現する前日から発症後3～7日間は、ウイルスを排出するといわれています。インフルエンザと診断された場合は、学校等に行かないようにして自宅等で療養しましょう。また、感染予防及び拡大防止のため、手洗いや適切なマスクの着用、三密の回避等に努め、十分な休養とバランスのとれた食事を心がけましょう。詳しくは、福岡県HP「インフルエンザの流行状況についてお知らせします（警報の基準値を超えました）」(<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/flu-2024-2025.html>)をご覧ください。
- ・福岡県感染症情報ホームページ(https://www.fihes.pref.fukuoka.jp/~idsc_fukuoka/)では、感染症発生情報、病原体検出情報などをご覧になれます。

■ 全数把握疾患報告

病名	福岡県		全国（前週）	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
腸管出血性大腸菌感染症	2	2	30	3,742
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	1	25	2,277
急性脳炎	1	1	28	609
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	2	22	1,888
侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	1	25	644
侵襲性肺炎球菌感染症	5	5	79	2,530
梅毒	3	3	201	14,663
百日咳	2	2	158	4,054

■ 定点把握疾患報告数

警報レベル

注意報レベル

病名	福岡県			全国（前週）	
	報告数	定点当たり	前週比	報告数	定点当たり
新型コロナウイルス感染症	549	2.79	0.92	34,610	7.01
インフルエンザ（警報レベル）	7,958	40.40	0.50	317,812	64.39
RSウイルス感染症	19	0.16	0.63	1,272	0.41
咽頭結膜熱	32	0.27	0.63	1,358	0.43
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	114	0.96	0.30	7,466	2.38
感染性胃腸炎	157	1.32	0.21	15,660	5.00
水痘	43	0.36	0.78	840	0.27
手足口病	5	0.04	0.07	1,692	0.54
伝染性紅斑	8	0.07	0.32	2,643	0.84
突発性発しん	7	0.06	0.18	678	0.22
ヘルパンギーナ	1	0.01	-	62	0.02
流行性耳下腺炎	4	0.03	1.00	95	0.03
急性出血性結膜炎	0	0.00	-	32	0.05
流行性角結膜炎	4	0.15	0.40	619	0.89
細菌性髄膜炎	1	0.07	-	12	0.03
無菌性髄膜炎	0	0.00	0.00	14	0.03
マイコプラズマ肺炎	10	0.67	0.33	647	1.35
クラミジア肺炎	0	0.00	-	-	-
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0	0.00	-	14	0.03

※新型コロナウイルス感染症について、現在、警報・注意報の基準値は設定されていません。